

2018年（平成30年）度
国立公文書館デジタルアーカイブ等システムに関する業務・システム最適化
実施評価報告書

2019年（令和元年）10月24日

1. 国立公文書館デジタルアーカイブ等システムに関する業務・システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	国立公文書館 業務課
対象期間	2018年4月1日～2019年3月31日
最適化工程の段階	運用段階

2. 最適化実施状況

(1) 運用段階

① デジタルアーカイブ等システムの運用

(最適化の実施内容)

平成28年度より運用段階にあるデジタルアーカイブ等システムについて、運用・保守の管理を行い、その状況を報告する。

(最適化の実施状況)

・月1回開催の技術支援・保守プロジェクト全体定例会議の場を中心に、運用保守事業者との間で、課題や問題の確認を適宜実施しつつ適切な対応を行い、安定的な運用を維持した。

※2016年（平成28年）4月よりデジタルアーカイブ等システム（以下「DA等システム」という。）の運用を開始。同9月末よりアジア歴史資料センター資料提供システムを統合したDA等システムの運用を開始。

【最適化実施の評価】

○課題及び問題とその原因

特になし。

3. 最適化の効果の評価

(1) 最適化効果指標の目標値に対する達成度の評価

【最適化共通効果指標】

① 削減経費

最適化実施後の削減経費の効果は、82,529 千円の発現となった。

②削減業務処理時間

最適化計画のとおり、最適化実施前後の業務処理時間は同じであるため、削減業務処理時間は発現していない。

【最適化個別効果指標】

①デジタルアーカイブ等システム トップページのアクセス数

目標値（680,000 件）を上回るアクセス（855,965 件）があった。

(2) サービス指標の目標値に対する達成度の評価

【共通サービス指標】

①稼働率

目標値（99.9%）を満たす平均稼働率（99.9%）を達成しており、順調に稼働している。

4. 最適化実施の総合評価

最適化実施により、年間約 83 百万円の運用経費が削減され、目標が達成された。また、最適化個別効果指標及び共通サービス指標についても、それぞれ目標が達成された。

5. その他

特になし。

6. 添付書類

最適化効果指標・サービス指標一覧